

草剣連発第 1981 号
令和 2 年 3 月 4 日

各 支 部 長 様

草 加 市 剣 道 連 盟
会 長 増 田 吉 男

第 33 回 県民総合スポーツ大会 兼
第 75 回 国民体育大会剣道競技（成年男子）予選会
の実施について

このことについて、下記のとおり実施いたしますので、参加資格を確認の上申し込んでください。

なお、本大会は来る 10 月 4 日(日)～6 日(火)まで鹿児島県で開催されます。

記

1 実施日時 令和 2 年 5 月 24 日（日）9 時開場 9 時 10 分受付
9 時 40 分受付終了 10 時開会

2 実施場所 埼玉県立武道館 主道場

3 参加資格

成年男子（年齢基準は令和 2 年 4 月 1 日とする。）

選手構成の年齢制限は次のとおりとする。

【先鋒】 H7 年 4 月 2 日以降～H14 年 4 月 1 日までに生まれた者

【次鋒】 S60 年 4 月 2 日以降～H7 年 4 月 1 日までに生まれた者

【中堅】 S50 年 4 月 2 日以降～S60 年 4 月 1 日までに生まれた者

【副将】 S40 年 4 月 2 日以降～S50 年 4 月 1 日までに生まれた者

【大将】 55 歳以上〔S40 年 4 月 1 日以前に生まれた者〕

※ ただし、大将は、（注）の監督資格を有する者

（注）監督については公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度に基づく競技別指導者資格を有する者とし、各競技における対象資格については当該競技実施要項によるものとする。

◎ 令和 2 年 4 月 30 日以前から埼玉県内に居住（住民票の一致）し、本連盟加盟団体の会員であること。

◎ 大学生の出場資格

- ① 埼玉県の高校を卒業して、県内に居住している者。
- ② 埼玉県の高校を卒業して、他県に居住している者は「ふるさと制度」を適用して出場となるので、申し込み時に連絡のこと。
- ③ 他県の高校を卒業した場合は、住民票が埼玉県内にある者。

- 4 申込方法 申込みは「国体成年男子申込書」を使用し 3月27日(金)までにより申し込んでください。
申し込み先：事務局 坂田政司
- 5 試合方法 (1) 試合は全日本剣道連盟による、剣道試合審判規則、同細則、運営要領に準ずる。
(2) 予選は各年代別に行う。
(3) 竹刀の計量・検査については、当日必ず受けて合格竹刀を使用のこと。
- 6 選手決定について 各年代別、優勝者を埼玉県代表選手とする。
- 7 その他 (1) 垂れに付ける名札の所属名は加盟団体名とする。ただし、大学剣道連盟から出場する者に限っては、大学名の名札を可とする。
(2) 本連盟として傷害保険には加入しております。なお、大会中の負傷、疾病については、応急処置のみ行います。保険証を持参してください。
(3) 申込者の無い加盟団体も、事務局まで御報告ください。
(4) 参加資格について、分からない点がありましたら埼剣連事務局までお問い合わせください。

剣道用具の取り扱いについて

(1)竹刀の長さ（全長・先革長）、重さ、太さ（先革先端対辺直径値及び先端より8cmのちくとう部対角直径値）は、表と図のとおりとする。

ピース（四つ割り竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状の変更をしたものの使用は認めない。

(2)小手はこぶしと前腕（肘から手首の最長部）の1/2以上を保護し、安全性を保つため小手頭部および小手ふとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力がある。

小手ふとん部のえぐり（クリ）の深さについては小手ふとん最長部と最短部の長さの差が2.5cm以内である。

(3)面ふとん部は安全性を保つため、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。

(4)剣道着の袖は、安全性を保つため、肘関節を保護する長さを確保する。（構えたときに肘関節が隠れること）

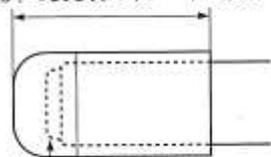
男子			一刀の場合		二刀の場合	
			大 刀	小 刀	大 刀	小 刀
	長さ		120 c m以下	114 c m以下	62 c m以下	
	重さ		510 g 以上	440 g 以上	280～300 g 以上	
太さ	先端部最少直径		26m m以上	25m m以上	24m m以上	
	ちくとう最少直径		21m m以上	20m m以上	19m m以上	

女子			一刀の場合		二刀の場合	
			大 刀	小 刀	大 刀	小 刀
	長さ		120 c m以下	114 c m以下	62 c m以下	
	重さ		440 g 以上	400 g 以上	250～280 g 以上	
太さ	先端部最少直径		25m m以上	24m m以上	24m m以上	
	ちくとう最少直径		20m m以上	19m m以上	19m m以上	

図. 竹刀の先革長、先革先端部最小直径値、ちくとう直径値の計測方法

<竹刀の先革長、先端部最少直径値の計測方法>

先革の長さ50ミリメートル以上

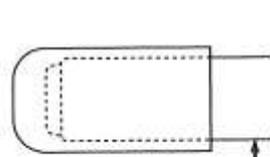


計測位置
(先端から15センチメートル)

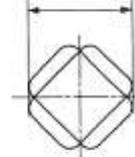


計測位置
(対辺径)

<ちくとうの最少直径値の計測方法>



計測位置
(先端から8センチメートル)



計測位置
(対角径)